

Yama list 8 医王山 [939m/金沢市]



平成8年には県立自然公園に認定されている。石川県と富山県の境に位置する山。金沢市の近郊にありながらも、大池やトンビ岩などの自然景観のほか、ブナの森に生息しているさまざまな鳥獣植物を楽しむことができる。登山コースも複数整備されているため、体力や経験値に合わせてルートを選べるのも魅力。周辺には、医王山スポーツセンターや金沢いれあいの里などの施設も充実している。

advice JR金沢駅から西尾平徒歩約40分。車の場合、北陸自動車道・金沢ICから約30分。JR金沢十橋(13分)あり。トイレあり。冬期はトイレやビジターセンターが閉鎖し、利用することができないため注意



Yama list 7 高爪山 [341m/羽咋郡志賀町]



川原の龍堂半島にある山で、美しい三角錐の姿から「龍堂富士」と呼ばれている。止泊からの眺望がよく、北内の方向には日本海を望むことも。山頂付近には高爪神社の奥宮が築屋しており、馬込住長は狐神や所産、漁業の目標として崇拝していたという。また、高爪神社には道指定重要文化財である「木版刷画透心」があることで有名。ゆるやかな坂が多いため、経験値を問わず初心者でも気軽に楽しめる。

advice JR金沢駅から大鷲寺までタクシーで約1時間30分。車の場合、北陸自動車道・富山ICから約25分。大鷲寺の大仏堂茶室(5名)あり。トイレなし。バスを利用することで車移動を推奨



Yama list 4 富士写ヶ岳 [942m/加賀市]

ベストシーズンである4月下旬には、シャクナゲの群生が斜面を這いよぐすほど、とくにこの時期はシャクナゲを賞しまいに登山する人が多い。秋の紅葉もすばらしく、四季折々で表情の変化を楽しむことができる

advice JR羽咋駅南駅から数寄山公園まで、タクシーで約30分。車の場合、北陸自動車道・加賀ICから数寄山公園まで約30分。加賀市中央(20分)あり。トイレなし。ルート途中にある数寄山公園の九谷ダムサイトにはトイレあり



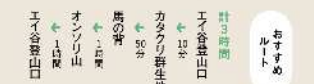
日本百名山の著者「栗田久朝」が初めて登った山として、地元で親しまれている富士写ヶ岳。山の姿が富士山に似ていることからこの名がついたといわれている。4月下旬ごろから咲き誇るシャクナゲが有名で、開花する時期には日本各地から多くの登山者が足を運ぶ。登山コースは大きく分けて3つ。初心者から人気の高い「我谷コース」と「大内コース」、急登もあるが登りぐたえ抜群の「打洞コース」。歩き足りないという人には、巻道するプランを立てることができるのもうれしい。下山後は山中温泉の湯元である共同浴場「湯の湯」で、さっぱりと汗を流したい。

Yama list 10 オンソリ山 [888m/白山市]



国内最大規模ともいわれるカタクリ群生地が登山口近くにあるオンソリ山。カタクリは4月上旬に開花し、一週間ほどで見頃を過ぎてしまふため、一面に広がるカタクリを観賞するために各地から多くの登山者が訪れる。山頂周辺のブナの原生林では、光が差し込むと幻想的な空気を感ずることができる。また春にはギョウジャボク、秋にはアキアカネが空を飛び交い、運行する登山客を魅了している。

advice JR小松駅からエグ谷登山口までタクシーで約50分。車の場合、北陸自動車道・小松ICから約1時間。近辺川キャンプ場入口近くの道南に駐車スペースあり。車用トイレなし。ルートには急登も多いため要注意



Yama list 9 大日山 [1,368m/小松市]



川原と鶴井県にまたがり、大日如来を祀る山として知られている大日山。山頂では周辺の山々や谷が360度のパノラマで広がっているため、絶景を堪能することができる。登山道の途中には滝が急流しており、登山だけでなく沢遊びを楽しむことも。大日山と鈴ヶ岳の分岐点には、大日山自然学会「カタクリ小屋」があり、小屋前自然のペンチでのんびりと休憩している登山客も多い。

advice JR小松駅から新築登山口までタクシーで約50分。車の場合、北陸自動車道・小松ICから約1時間。登山口付近に駐車スペース(8台、無料)あり。トイレなし。カタクリ小屋には常駐している管理人はいない



取立山には約3,000株ものミズバショウが自生しており、見頃の時期には多くの登山者でにぎわう人気スポット。石川県にある取立平の景観滝壺上にミズバショウの群生地があり、日本産産限に近い

advice えちぞん鉄道助山駅から登山口までタクシーで約35分。車の場合、中部縦断自動車道・勝山ICから、登山口まで約50分。有料駐車場(80台、乗用車一台につき900円)あり。取立平遊覧小径にトイレあり



Yama list 5 取立山 [1,307m/勝山市]

奥越前県立自然公園内に位置し、ベストシーズンには多くの登山客でにぎわう。5月中旬～下旬には、たくさんのミズバショウが咲き乱れる群生地として有名。登山道は険しいルートが少ないため、気軽に歩くことができる。登山口から歩いてすぐのところには落差30mほどの大滝があり、夏らしい涼しげな滝音感を味わえる。山頂付近では高山植物を楽しむんだり、白山陣降の大パノラマを望んだり、思う存分に自然を堪能できるのも魅力だ。秋には紅葉が美しく彩り、冬には冬山入門の場所として訪れる人も多いため、季節を問わず一年中楽しめることのできる山だ。



令和元年に生まれながら開成した山の御成蔵が、今年の4月永にリニューアルオープン。くつろぎながら日本酒を飲むように、大きな窓とベンチを設置。室内は木のぬくもりを感じられる善徳区に

advice JR七尾線等遠駅からこぶしの跡まで徒歩約1時間15分。車の場合、のと里山道路・美里ICからこぶしの跡まで約10分。駐車場(40台)あり。トイレあり。冬季節期間があるため冬から春にかけて訪れる場合は雪対策



Yama list 6 宝達山 [637m/宝達志水町]

能登半島の最高峰である宝達山は、初心者向けの登山道「こぶしの跡」の標高が急峻が美しく、多くの登山客から人気を集めている。登山道に入る前には水汲み池もあり、飲み水に困らないのがうれしい。宝達山頂宇連比咩神社の山手にはブナ林が広がり、散策者がしっかりと感得されている。また、1,000kmもの距離を移動する「アサギマダラ」が宝達山を中継地点にしており、山頂付近にはアサギマダラの好物であるフジバカマやアザミが植えられている。宝達山ファンクラブのメンバーが山頂公園の一部に「アサギマダラのカフェテラス」を作り、大切に育てているというエピソードも。

